

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年6月1日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)
【会社名】	サンコーテクノ株式会社
【英訳名】	SANKO TECHNO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 洞下 英人
【本店の所在の場所】	千葉県流山市東初石六丁目183番1
【電話番号】	04-7178-5535
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 佐藤 静男
【最寄りの連絡場所】	千葉県流山市東初石六丁目183番1
【電話番号】	04-7178-5535
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 佐藤 静男
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の平成23年3月期及び平成24年3月期第2四半期連結財務諸表作成に当たり、一部の連結子会社の決算日ずれにより、連結子会社決算日から連結決算日までの当社との間に生じた重要な取引について行った調整に一部誤りがありました。

具体的には、当社グループのセンサーセグメントに関して、平成23年3月期に内部取引が発生し、平成23年3月期第4四半期においてアルコール測定器の駆け込み特需があり、期末に売上高が一時的に増加したため期ずれ調整を行い、当社のセンサーセグメントの仕入高に対応する連結子会社の売上高を計上し、相殺消去を行いました。その際、連結子会社の売上原価に関する仕訳並びに当該取引に関する税効果の仕訳をしておりませんでした。

平成24年3月期の期末監査手続きにおいて、新日本有限責任監査法人より、売上原価に関する調整仕訳が計上されていない旨の指摘を受けました。また、平成24年3月期第2四半期においても同様の処理を行っておりました。

その結果、当社が平成23年11月14日に提出いたしました第48期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので、あわせて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) キャッシュ・フローの状況

(5) 財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	6,426,946	6,534,599	13,626,170
経常利益(千円)	164,303	<u>194,755</u>	<u>489,223</u>
四半期(当期)純利益(千円)	95,453	<u>88,666</u>	<u>260,951</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	76,677	<u>70,862</u>	<u>243,951</u>
純資産額(千円)	6,506,318	<u>6,679,249</u>	<u>6,669,459</u>
総資産額(千円)	13,550,461	<u>13,898,563</u>	<u>13,743,512</u>
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.91	<u>43.58</u>	<u>128.24</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	47.0	<u>47.0</u>	<u>47.5</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	16,804	7,985	537,178
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△177,886	△1,066	△449,834
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△19,746	△99,484	95,752
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	1,023,425	1,273,573	1,379,366

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	57.07	<u>61.51</u>

(訂正後)

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	6,426,946	6,534,599	13,626,170
経常利益(千円)	164,303	<u>205,218</u>	<u>443,988</u>
四半期(当期)純利益(千円)	95,453	<u>100,137</u>	<u>211,073</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	76,677	<u>82,333</u>	<u>194,073</u>
純資産額(千円)	6,506,318	<u>6,640,841</u>	<u>6,619,581</u>
総資産額(千円)	13,550,461	<u>13,860,155</u>	<u>13,693,634</u>
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.91	<u>49.21</u>	<u>103.73</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	47.0	<u>46.9</u>	<u>47.3</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	16,804	7,985	537,178
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△177,886	△1,066	△449,834
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△19,746	△99,484	95,752
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	1,023,425	1,273,573	1,379,366

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	57.07	<u>59.52</u>

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンが復旧し企業の生産活動は徐々に回復の兆しを見せたものの、欧米の経済不安等による円高傾向が続き先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、震災後の本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、公共事業全般の予算執行にも大きな遅れが見受けられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。ファスニング事業部では、非破壊荷重確認試験器を新たに発売したほか、リニューアル事業では、地盤設置型ソーラーシステムの新たな基礎工法を当社独自設計で改良開発しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,534百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益218百万円（同27.8%増）、経常利益194百万円（同18.5%増）となりました。四半期純利益は、88百万円（同7.1%減）となりました。

(省略)

③センサー事業

測定器関連では「旅客自動車運送事業運輸規則」及び「貨物自動車運送事業輸送安全規則」の一部改正に伴う事務所設置型アルコール測定器の需要が一巡したものの、7月に発売したモバイル型アルコール測定器が好調に推移しました。

電子基板関連では円高による医療機器の輸出減が発生しましたが、車両向けの製品受注が好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は308百万円（同5.3%増）、セグメント損失は12百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

(省略)

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンが復旧し企業の生産活動は徐々に回復の兆しを見せたものの、欧米の経済不安等による円高傾向が続き先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、震災後の本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、公共事業全般の予算執行にも大きな遅れが見受けられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。ファスニング事業部では、非破壊荷重確認試験器を新たに発売したほか、リニューアル事業では、地盤設置型ソーラーシステムの新たな基礎工法を当社独自設計で改良開発しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,534百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益228百万円（同33.9%増）、経常利益205百万円（同24.9%増）となりました。四半期純利益は、100百万円（同4.9%増）となりました。

(省略)

③センサー事業

測定器関連では「旅客自動車運送事業運輸規則」及び「貨物自動車運輸事業輸送安全規則」の一部改正に伴う事務所設置型アルコール測定器の需要が一巡したものの、7月に発売したモバイル型アルコール測定器が好調に推移しました。

電子基板関連では円高による医療機器の輸出減が発生しましたが、車両向けの製品受注が好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は308百万円（同5.3%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

(省略)

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)は、前連結会計年度と比較して105百万円(7.7%)減少し、1,273百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、7百万円(前第2四半期連結累計期間は16百万円の増加)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が190百万円、減価償却費が112百万円及び仕入債務の増加額が241百万円となった一方、たな卸資産の増加額が415百万円、法人税等の支払額が91百万円となったことによるものであります。

(省略)

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)は、前連結会計年度と比較して105百万円(7.7%)減少し、1,273百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、7百万円(前第2四半期連結累計期間は16百万円の増加)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が200百万円、減価償却費が112百万円及び仕入債務の増加額が241百万円となった一方、たな卸資産の増加額が426百万円、法人税等の支払額が91百万円となったことによるものであります。

(省略)

(5) 財政状態の分析

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より155百万円増加して13,898百万円となりました。これは主としてたな卸資産が増加した一方、現金及び預金、土地の売却などにより有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より145百万円増加して7,219百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が増加した一方、借入金、退職給付引当金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より9百万円増加して6,679百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より166百万円増加して13,860百万円となりました。これは主としてたな卸資産が増加した一方、現金及び預金、土地の売却などにより有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より145百万円増加して7,219百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が増加した一方、借入金、退職給付引当金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より21百万円増加して6,640百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,285,605
受取手形及び売掛金	3,032,585	3,048,491
たな卸資産	※1 2,201,722	※1 2,607,651
その他	844,959	815,053
貸倒引当金	△70,063	△71,017
流動資産合計	7,400,094	7,685,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,896	1,339,372
土地	3,067,211	3,012,088
その他（純額）	449,792	373,804
有形固定資産合計	4,862,899	4,725,265
無形固定資産	121,691	118,989
投資その他の資産	※3 1,358,826	※3 1,368,523
固定資産合計	6,343,417	6,212,778
資産合計	13,743,512	13,898,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	1,180,477
短期借入金	4,228,311	4,199,466
未払法人税等	95,620	95,362
賞与引当金	127,547	135,904
災害損失引当金	2,195	—
その他	325,138	305,278
流動負債合計	5,718,723	5,916,488
固定負債		
長期借入金	52,728	35,064
退職給付引当金	974,914	934,785
役員退職慰労引当金	218,375	222,428
その他	109,313	110,547
固定負債合計	1,355,330	1,302,825
負債合計	7,074,053	7,219,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	<u>5,509,473</u>	<u>5,537,097</u>
自己株式	△244,111	△244,111
株主資本合計	<u>6,615,144</u>	<u>6,642,768</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,618	△18,153
繰延ヘッジ損益	597	△856
為替換算調整勘定	△62,701	△85,036
その他の包括利益累計額合計	<u>△82,722</u>	<u>△104,046</u>
少数株主持分	137,037	140,526
純資産合計	<u>6,669,459</u>	<u>6,679,249</u>
負債純資産合計	<u>13,743,512</u>	<u>13,898,563</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,285,605
受取手形及び売掛金	3,032,585	3,048,491
たな卸資産	※1 2,156,486	※1 2,572,879
その他	840,316	811,418
貸倒引当金	△70,063	△71,017
流動資産合計	<u>7,350,216</u>	<u>7,647,377</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,896	1,339,372
土地	3,067,211	3,012,088
その他（純額）	449,792	373,804
有形固定資産合計	<u>4,862,899</u>	<u>4,725,265</u>
無形固定資産	121,691	118,989
投資その他の資産	※3 1,358,826	※3 1,368,523
固定資産合計	<u>6,343,417</u>	<u>6,212,778</u>
資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,860,155</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	1,180,477
短期借入金	4,228,311	4,199,466
未払法人税等	95,620	95,362
賞与引当金	127,547	135,904
災害損失引当金	2,195	—
その他	325,138	305,278
流動負債合計	<u>5,718,723</u>	<u>5,916,488</u>
固定負債		
長期借入金	52,728	35,064
退職給付引当金	974,914	934,785
役員退職慰労引当金	218,375	222,428
その他	109,313	110,547
固定負債合計	<u>1,355,330</u>	<u>1,302,825</u>
負債合計	<u>7,074,053</u>	<u>7,219,314</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	<u>5,459,595</u>	<u>5,498,689</u>
自己株式	△244,111	△244,111
株主資本合計	<u>6,565,266</u>	<u>6,604,360</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,618	△18,153
繰延ヘッジ損益	597	△856
為替換算調整勘定	△62,701	△85,036
その他の包括利益累計額合計	<u>△82,722</u>	<u>△104,046</u>
少数株主持分	137,037	140,526
純資産合計	<u>6,619,581</u>	<u>6,640,841</u>
負債純資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,860,155</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	※2 6,426,946	※2 6,534,599
売上原価	4,524,971	<u>4,514,846</u>
売上総利益	1,901,975	<u>2,019,752</u>
販売費及び一般管理費	※1 1,731,150	※1 1,801,505
営業利益	170,825	<u>218,247</u>
営業外収益		
受取利息	1,914	5,362
受取配当金	1,309	1,345
仕入割引	29,652	23,187
投資不動産賃貸料	10,007	15,223
持分法による投資利益	776	1,260
その他	31,885	9,177
営業外収益合計	75,546	55,557
営業外費用		
支払利息	13,987	12,127
売上割引	38,820	41,531
その他	29,260	25,391
営業外費用合計	82,068	79,049
経常利益	164,303	<u>194,755</u>
特別利益		
固定資産売却益	2	5,187
特別利益合計	2	5,187
特別損失		
固定資産除却損	2,155	3,890
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	865	—
災害による損失	—	5,884
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	—
特別損失合計	3,940	9,775
税金等調整前四半期純利益	160,365	<u>190,167</u>
法人税等	57,052	<u>93,740</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	103,312	<u>96,427</u>
少数株主利益	7,859	7,761
四半期純利益	95,453	<u>88,666</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	※2 6,426,946	※2 6,534,599
売上原価	4,524,971	<u>4,504,382</u>
売上総利益	1,901,975	<u>2,030,216</u>
販売費及び一般管理費	※1 1,731,150	※1 1,801,505
営業利益	170,825	<u>228,711</u>
営業外収益		
受取利息	1,914	5,362
受取配当金	1,309	1,345
仕入割引	29,652	23,187
投資不動産賃貸料	10,007	15,223
持分法による投資利益	776	1,260
その他	31,885	9,177
営業外収益合計	75,546	55,557
営業外費用		
支払利息	13,987	12,127
売上割引	38,820	41,531
その他	29,260	25,391
営業外費用合計	82,068	79,049
経常利益	164,303	<u>205,218</u>
特別利益		
固定資産売却益	2	5,187
特別利益合計	2	5,187
特別損失		
固定資産除却損	2,155	3,890
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	865	—
災害による損失	—	5,884
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	—
特別損失合計	3,940	9,775
税金等調整前四半期純利益	160,365	<u>200,631</u>
法人税等	57,052	<u>92,732</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	103,312	<u>107,898</u>
少数株主利益	7,859	7,761
四半期純利益	95,453	<u>100,137</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,312	<u>96,427</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,693	2,467
繰延ヘッジ損益	—	△1,453
為替換算調整勘定	△16,941	△26,579
その他の包括利益合計	△26,634	△25,565
四半期包括利益	76,677	<u>70,862</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,996	<u>67,343</u>
少数株主に係る四半期包括利益	5,681	3,519

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,312	<u>107,898</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,693	2,467
繰延ヘッジ損益	—	△1,453
為替換算調整勘定	△16,941	△26,579
その他の包括利益合計	△26,634	△25,565
四半期包括利益	76,677	<u>82,333</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,996	<u>78,813</u>
少数株主に係る四半期包括利益	5,681	3,519

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	160,365	190,167
減価償却費	113,344	112,965
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,725	△40,147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,683	4,053
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,178	8,356
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,418	△15,821
受取利息及び受取配当金	△2,062	△3,373
支払利息	7,451	6,182
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△5,187
有形固定資産除却損	2,148	3,885
売上債権の増減額 (△は増加)	△79,629	△23,182
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△290,160	△415,624
仕入債務の増減額 (△は減少)	174,605	241,171
その他	△3,518	39,833
小計	106,099	103,278
利息及び配当金の受取額	2,828	3,232
利息の支払額	△6,269	△7,093
法人税等の支払額	△85,853	△91,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,804	7,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95,390	△32,973
有形固定資産の売却による収入	2	51,962
貸付による支出	△35,165	△19,327
貸付金の回収による収入	12,636	25,783
その他	△59,969	△26,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,886	△1,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	230,265	45,360
長期借入金の返済による支出	△188,278	△83,738
自己株式の取得による支出	△281	—
配当金の支払額	△61,044	△60,697
少数株主への配当金の支払額	△30	△30
その他	△378	△378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,746	△99,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,571	△13,228
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△184,399	△105,793
現金及び現金同等物の期首残高	1,207,825	1,379,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,023,425	* 1,273,573

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	160,365	<u>200,631</u>
減価償却費	113,344	112,965
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,725	△40,147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,683	4,053
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,178	8,356
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,418	△15,821
受取利息及び受取配当金	△2,062	△3,373
支払利息	7,451	6,182
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△5,187
有形固定資産除却損	2,148	3,885
売上債権の増減額 (△は増加)	△79,629	△23,182
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△290,160	<u>△426,088</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	174,605	241,171
その他	△3,518	39,833
小計	<u>106,099</u>	<u>103,278</u>
利息及び配当金の受取額	2,828	3,232
利息の支払額	△6,269	△7,093
法人税等の支払額	△85,853	△91,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>16,804</u>	<u>7,985</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95,390	△32,973
有形固定資産の売却による収入	2	51,962
貸付による支出	△35,165	△19,327
貸付金の回収による収入	12,636	25,783
その他	△59,969	△26,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△177,886</u>	<u>△1,066</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	230,265	45,360
長期借入金の返済による支出	△188,278	△83,738
自己株式の取得による支出	△281	—
配当金の支払額	△61,044	△60,697
少数株主への配当金の支払額	△30	△30
その他	△378	△378
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△19,746</u>	<u>△99,484</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,571	△13,228
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>△184,399</u>	<u>△105,793</u>
現金及び現金同等物の期首残高	1,207,825	1,379,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,023,425	※ 1,273,573

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																
<p>※1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">1,360,839千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">354,756</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td style="text-align: right;">24,540</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">461,585</td> </tr> </table> <p>2. 保証債務</p> <p>(1) 当社及び一部の連結子会社は、流山工業団地協同組合の千葉県からの借入金90,723千円について、同組合の他の組合企業14社とともに連帯保証しております。</p> <p>(2) 一部の連結子会社は、三井住友ファイナンス&リース株式会社に販売した製品に対して、24,780千円の買取保証をしております。</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 64,484千円</p>	商品及び製品	1,360,839千円	仕掛品	354,756	未成工事支出金	24,540	原材料及び貯蔵品	461,585	<p>※1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">1,589,909千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">327,837</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td style="text-align: right;">57,423</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">632,480</td> </tr> </table> <p>2. 保証債務</p> <p>(1) 当社及び一部の連結子会社は、流山工業団地協同組合の千葉県からの借入金86,073千円について、同組合の他の組合企業14社とともに連帯保証しております。</p> <p>(2) 一部の連結子会社は、三井住友ファイナンス&リース株式会社に販売した製品に対して、21,518千円の買取保証をしております。</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 47,708千円</p>	商品及び製品	1,589,909千円	仕掛品	327,837	未成工事支出金	57,423	原材料及び貯蔵品	632,480
商品及び製品	1,360,839千円																
仕掛品	354,756																
未成工事支出金	24,540																
原材料及び貯蔵品	461,585																
商品及び製品	1,589,909千円																
仕掛品	327,837																
未成工事支出金	57,423																
原材料及び貯蔵品	632,480																

(訂正後)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																
<p>※1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">1,315,604千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">354,756</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td style="text-align: right;">24,540</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">461,585</td> </tr> </table> <p>2. 保証債務</p> <p>(1) 当社及び一部の連結子会社は、流山工業団地協同組合の千葉県からの借入金90,723千円について、同組合の他の組合企業14社とともに連帯保証しております。</p> <p>(2) 一部の連結子会社は、三井住友ファイナンス&リース株式会社に販売した製品に対して、24,780千円の買取保証をしております。</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 64,484千円</p>	商品及び製品	1,315,604千円	仕掛品	354,756	未成工事支出金	24,540	原材料及び貯蔵品	461,585	<p>※1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">1,555,137千円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">327,837</td> </tr> <tr> <td>未成工事支出金</td> <td style="text-align: right;">57,423</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">632,480</td> </tr> </table> <p>2. 保証債務</p> <p>(1) 当社及び一部の連結子会社は、流山工業団地協同組合の千葉県からの借入金86,073千円について、同組合の他の組合企業14社とともに連帯保証しております。</p> <p>(2) 一部の連結子会社は、三井住友ファイナンス&リース株式会社に販売した製品に対して、21,518千円の買取保証をしております。</p> <p>※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 47,708千円</p>	商品及び製品	1,555,137千円	仕掛品	327,837	未成工事支出金	57,423	原材料及び貯蔵品	632,480
商品及び製品	1,315,604千円																
仕掛品	354,756																
未成工事支出金	24,540																
原材料及び貯蔵品	461,585																
商品及び製品	1,555,137千円																
仕掛品	327,837																
未成工事支出金	57,423																
原材料及び貯蔵品	632,480																

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,190,735	1,081,531	262,332	6,534,599	—	6,534,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699	11,172	46,126	57,998	△57,998	—
計	5,191,434	1,092,704	308,458	6,592,598	△57,998	6,534,599
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	252,801	△29,440	△12,833	210,526	7,721	218,247

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,190,735	1,081,531	262,332	6,534,599	—	6,534,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699	11,172	46,126	57,998	△57,998	—
計	5,191,434	1,092,704	308,458	6,592,598	△57,998	6,534,599
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	252,801	△29,440	△2,369	220,990	7,721	228,711

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	46円91銭	<u>43円58銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	95,453	<u>88,666</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	95,453	<u>88,666</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,828	2,034,759

(訂正後)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	46円91銭	<u>49円21銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	95,453	<u>100,137</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	95,453	<u>100,137</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,828	2,034,759

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月31日

サンコーテクノ株式会社

取締役会 御 中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	布施木 孝叔	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中川 昌美	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンコーテクノ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンコーテクノ株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月11日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。